エイズ病原体感染者報告票（病状に変化を生じた事項に関する報告）

都道府県知事（保健所設置市長、特別区長）殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条に規定により報告された症例について、病状に変化を生じたので、次のとおり報告する。

<table>
<tr><td rowspan="2">病状の変化</td><td colspan="6">1　ＨＩＶ無症候性キャリア等→ＡＩＤＳ
・ＡＩＤＳと診断した年月日＿＿年＿＿月＿＿日
・ＡＩＤＳと診断した指標疾患（該当するものすべてに○をつける）
1．カンジダ症（食道、気管、気管支、肺）
2．クリプトコッカス症（肺以外）
3．コクシジオイデス症（①全身に播種したもの　②肺、頚部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
4．ヒストプラズマ症（①全身に播種したもの　②肺、頚部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
5．ニューモシスティス肺炎
6．トキソプラズマ脳症（生後１か月以後）
7．クリプトスポリジウム症（１か月以上続く下痢を伴ったもの）
8．イソスポラ症（１か月以上続く下痢を伴ったもの）
9．化膿性細菌感染症（13歳未満で、ヘモフィルス、連鎖球菌等の化膿性細菌により、①敗血症　②肺炎　③髄膜炎　④骨関節炎　⑤中耳・皮膚粘膜以外の部位や深在臓器の膿瘍のいずれかが、２年以内に、二つ以上多発あるいは繰り返して起こったもの）
10. サルモネラ菌血症（再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く）
11. 活動性結核（肺結核又は肺外結核）
12. 非結核性抗酸菌症（①全身に播種したもの　②肺、皮膚、頚部、肺門リンパ節以外の部位に起こったもの）
13. サイトメガロウイルス感染症（生後１か月以後で、肝、脾、リンパ節以外）
14. 単純ヘルペスウイルス感染症（①１か月以上持続する粘膜、皮膚の潰瘍を呈するもの　②生後１か月以後で気管支炎、肺炎、食道炎を併発するもの）
15. 進行性多巣性白質脳症
16. カポジ肉腫
17. 原発性脳リンパ腫
18. 非ホジキンリンパ腫（ＬＳＧ分類による　①大細胞型、免疫芽球型　③Burkitt 型）
19. 浸潤性子宮頚癌
20. 反復性肺炎
21. リンパ性間質性肺炎／肺リンパ過形成：ＬＩＰ／ＰＬＨ complex（13歳未満）
22. ＨＩＶ脳症（認知症又は亜急性脳炎）
23. ＨＩＶ消耗性症候群（全身衰弱又はスリム病）
※　11　活動性結核のうち肺結核及び19　浸潤性子宮頚癌については、ＨＩＶによる免疫不全を示唆する症状または所見が見られる場合に限る。</td></tr>
<tr><td colspan="6">2　生存　→　死亡
・死亡した年月日＿＿年＿＿月＿＿日
・死亡の原因　1　ＡＩＤＳが原因の死亡
2　それ以外の原因による死亡（　　）</td></tr>
<tr><td>国　　籍</td><td colspan="2">1　日本　　2　その他（　　）</td><td>性別</td><td colspan="2">1　男性　2　女性</td><td>年齢　　才</td></tr>
<tr><td colspan="2">前回報告時の臨床診断</td><td colspan="5">1　無症候性キャリア　　2　ＡＩＤＳ　　3　その他（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">感染者と診断した年月日</td><td colspan="5">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td colspan="7">備考</td></tr>
<tr><td>医療機関名</td><td colspan="2"></td><td rowspan="3">医療機関の
所在地
電話番号</td><td colspan="3" rowspan="3">〒

電話　　（　　）</td></tr>
<tr><td>診断医師名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>報告年月日</td><td colspan="2">年　　月　　日</td></tr>
</table>